

2024 年 5 月 24 日

保険薬局各位

富山市民病院 術前薬剤師外来からのお願い

当院では、手術予定の患者さんに対して、手術延期の回避、術後合併症の減少、早期回復を目的に 2019 年 7 月より術前薬剤師外来を開設し、患者面談時に術前中止薬の説明や抜取り・分別を行い、お薬手帳にて術前中止薬と中止日をお知らせしています。

術前に休薬を考慮すべき薬剤は下記のように分類されます。手術・処置の種類や侵襲度、患者さんの状態など休薬のリスク・ベネフィットを医師が総合的に判断し、指示をしています。

患者さん自身の判断で休薬・継続することは危険です。

①出血のリスクがある薬剤

(抗凝固薬、抗血小板薬、高脂血症薬、血管拡張薬、冠血管拡張薬、脳循環・代謝改善薬)

②血栓形成のリスクがある薬剤

(低用量経口避妊薬、月経困難治療薬、卵胞ホルモン製剤、SERM 骨粗鬆症治療薬、
黄体ホルモン)

③創傷治癒遅延のリスクがある薬剤

(血管新生阻害作用のある分子標的薬、抗リウマチ薬の一部、各種生物学的製剤)

④乳酸アシドーシス・ケトアシドーシスのリスクがある薬剤

(ビグアナイド系糖尿病薬、SGLT2 阻害薬、テトラヒドロトリアジン系糖尿病薬)

⑤その他の薬剤、医薬品以外

(アルコール依存症 飲酒量低減薬、OTC 薬、健康食品・サプリメントなど)

過去には、術前薬剤師外来日以降に患者さんが他科・他院を受診した後、中止薬が処方されることがありました。保険薬局薬剤師の皆様には、調剤・交付時にお薬手帳の記載履歴をご確認の上、必要に応じて処方元に疑義照会もしくは日数調整や一包化から除外するなどのご配慮をいただき、患者さんが**休薬中の薬剤を服用してしまうことのないよう**、服薬指導のほどお願い申し上げます。

また、近年 SGLT2 阻害薬の適応拡大により処方量が増えていること、さまざまな分子標的薬や各種生物学的製剤、EPA や DHA を含む健康食品・サプリメント、市販のピルを服用・使用されているケースもあることから、併せてご注意ください、患者さんへの安全・安心な医療の提供にご協力ください。

ご不明な点がございましたら下記まで、FAXにてお問い合わせください。

富山市民病院 薬剤科 FAX：076-(422)-9330 (直通)

術前薬剤師外来担当：石川見佳